

国内インバウンド旅行会社を招請、「冬の東北観光シンポジウム」と商談会を開催しました（1月14日～19日）

国内インバウンド旅行会社23社23名を招請し、5コースに分かれて冬の東北を視察していただき、冬ならではの東北をPRしました。

- ・1月14日～1月19日 青森県・秋田県コース
- ・1月16日～1月19日 岩手県コース、宮城県コース、山形県コース、福島県コース

各コース、ファットバイクやスノーシューなどのスノーアクティビティ体験や、東北のパウダースノーを存分に味わえるスキー・スノボ体験、温泉や食事・お酒の他、東北の生産者が提供する質の高い製作体験なども紹介、実際に体験していただきながら、インバウンド再開に向けた商品造成と販売を促しました。

招請期間中の1月18日に福島県の裏磐梯レイクリゾートにて「冬の東北観光シンポジウム」を開催しました。行政・民間事業者合わせて38名に参加いただき、あわせて東北6県および仙台市によるプレゼンテーション、東北域内事業者との商談会を開催しました。

シンポジウムでは主催の東観進から紺野専務理事が皆さまにご挨拶し、来賓の田中東北運輸局長にはオンラインでお話しいただいたあと、6県1市よりプレゼンテーションを実施しました。続く商談会では、参加旅行会社から「東北域内の観光事業者（19事業者23名）の熱心な商談は大変有意義だった」などの声をいただき、今後の増売が期待できる商談会となりました。

最終日の1月19日は、全コースの皆さまが集結し、会津での蒔絵体験や、沼尻高原でスノーアクティビティを体験し、良質な沼尻温泉の魅力と共に福島をPRしました。

今回は海外から旅行会社をお招きできなかったものの、国内のインバウンド旅行会社の販売意欲は高く、インバウンド再開後のスタートダッシュに向けての商品造成が期待できるプログラムとなりました。

今後も冬期のさらなる誘客拡大に向けた取り組みを進めてまいります。



【シンポジウムでのプレゼンテーション】



【商談会】



【スノーアクティビティ体験】

在日韓国メディアを招請しました（1月6日～10日）

在日韓国メディア2社2名を招請し、新潟県・福島県・山形県・秋田県において、東北の魅力について「アウトドア+文化・芸術」のコンテンツを中心に取材しました。

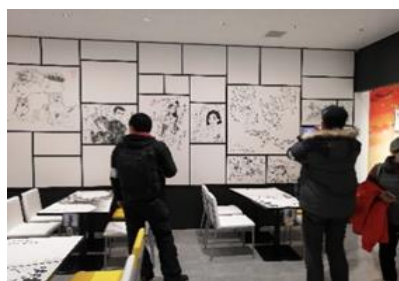
参加者からは、韓国においては普段からスキーやキャンプ等アウトドアコンテンツに触れる機会が多く、海外旅行においてもアウトドア要素を取り入れたいという要望は多いとコメントがあり、今回の取材ではスノートレッキング体験をはじめとするアウトドアコンテンツに非常に高い評価をいただきました。また、夕方から夜にかけての時間に写真映えする風景を取材できる銀山温泉が特に印象に残っているとのことでした。各コンテンツで、参加者自ら全身を使って東北の魅力を体感してもらうことにより、今後、自身の体験や感動を発信してもらえるような、充実した取材となりました。



【田沢湖 スノートレッキング】



【銀山温泉】



【横手増田まんが美術館】

富裕層向け国内エージェントを招請しました（1月24日～28日）

富裕層向け国内エージェント5社5名を招請し、福島県・山形県・宮城県・仙台市を視察しました。大内宿、沼尻高原（福島県）でのスノーアクティビティ、すみかわスノーパーク（宮城県）での樹氷観光などのコンテンツを満喫していただきました。なかでも、富裕層向け体験として紹介した、ニッカウヰスキー宮城峡蒸留所での「オリジナルウヰスキー作り体験」は、すぐにでも商品化したいとの評価を頂きました。

参加者からは、富裕層向けプラン造成に向けた提案や、ゴールデンルートに満足しない顧客へはアドベンチャーツアーも組み合わせ販売したいなどの意見もいただき、富裕層旅行者獲得のための効果的な招請となりました。



【大内宿】



【沼尻高原屋外ランチ】



【すみかわスノーパーク】

在日香港メディアを招請しました（1月24日～28日）

在日香港メディア1社1名を招請し、青森県・秋田県・岩手県で取材を行いました。東北らしい冬の体験コンテンツや絶景スポットを中心に、東北の冬の景色を十二分に体感してもらいました。

特に、スノーアクティビティや弘前公園・十和田湖周辺のライトアップは、東北でこの時期だからこそ見られるコンテンツとして、長い時間をかけて撮影していました。また、木伏、発酵パークCAMOCY（岩手県）といった比較的新しい観光コンテンツも紹介し、いずれも建物や取扱う商品のデザイン性が高く、いわゆる「映える」スポットと好評でした。撮影・インタビュー等含めいずれも熱心に取材を行っていただき、今後の記事化で東北の魅力発信に向け期待が持てるような取材となりました。



【弘前公園 冬に咲くさくらライトアップ】



【八甲田スノーシュー体験】



【木伏での取材】

在日欧米旅行会社を招請しました（1月25日～28日）

在日欧米旅行会社（米英独向け）2名を招請し、山形県及び福島県を中心に視察しました。

スノーコンテンツは日本で人気の観光目的のことで、あらゆる雪景色に大変感動していただき、今後東北の強みとして「雪」にポテンシャルが感じられました。特に五色沼（福島県）でのスノーシュー体験では、コンテンツの魅力に加え、商品造成の際に重視しているというガイドが好評でした。

全体として評価が高く、「東北へ送客できる確信がある」というコメントもいただき、コロナ収束後の誘客に向けて期待が持てる招請となりました。



【五色沼】



【上杉神社の愛の武将隊と】



【大内宿でのねぎそば食体験】

在日ムスリムメディアを招請しました（1月24日～29日）

在日ムスリムメディア・インフルエンサーを4名（マレーシア市場2名、インドネシア市場2名）を招請し、「自然豊かな観光コンテンツ」と「ハラルに対応したバラエティーに富んだ日本食」をテーマに、東北エリアがムスリムフレンドリーな地域であることをPRしました。

新潟県の越後湯沢、福島県の会津地域、宮城県仙台市を中心に視察いただき、飲食店とハラル対応について意見交換を各所で行いながら、東北の魅力を参加者にお伝えしました。特に各食事処がお祈りできるスペースを確保していたことを大変評価していただきました。「細かな配慮があり歓迎されていると感じられ、地域をリピートするきっかけになる」とのコメントをいただき、今後の東北の魅力を発信に期待が持てる招請となりました。



【越後湯沢ロープウェイ】



【大内宿】



【泉スプリングバレー】

台湾市場における「東北観光オンラインセミナー」（第2回）を実施しました（1月21日）

JNTO主催の旅行プランコンテスト「第6回 發現心日本奨 FUN新遊東北」で受賞した旅行会社のうち7社7名に向けてWeb会議ツールを活用した「東北観光オンラインセミナー」を実施しました。

東北各県・仙台市によるオンラインツアーでは、各県市の観光施設と台湾を繋ぎながらライブ配信を行い、現在の東北の様子や各施設の魅力、検温や消毒等感染症対策をしっかりと実施している旨を発信し、現地旅行会社からの反応も良好でした。

また、参加した現地旅行会社は、東北の情報を既に熟知している会社であったことから、東観推で実施した観光セミナーにおいては東北の最新の観光情報やコロナ対策といった内容に絞って説明するなど、台湾側において必要としている情報を効果的に発信しました。

12月に実施した第1回目のセミナーと合わせ、3月に開催予定の現地セミナー（台湾台北市・台中市・高雄市で旅行会社を対象）に向けて切れ目のない有効な情報発信ができました。



【ライブ配信の様子】



【東観推の観光セミナー画面】

TravMedia「東北プレスセンター」から東北の魅力をPRしました

1月は「Snow in Tohoku」と「A Trail of Tohoku Cherry Blossoms」の2つについて発信しました。

現在発信を行っている欧米市場からも人気のコンテンツとしてあげられる「Snow」。海外からの知名度が高いのは北海道ですが、東北にはそれ以上のコンディションで「Snow」を楽しめることを周知できるように記事にしました。スキー場だけではなく、スノーアクティビティや、冬の祭りもあわせ、多面的な東北の冬を紹介しました。この記事の発信で、東北の強みである「冬」の魅力が世界にもっと広まるきっかけとなれば嬉しいかぎりです。

また、東北は非常に魅力的な桜の名所を多く有しています。そんな素晴らしい東北の桜を世界に発信しました。掲載後すぐに、桜の写真をフックとした東北紹介の記事を「The Great Hotels of the World」にて掲載いただきました。

これからも引き続き東北の魅力を広く発信してまいります。



【A Trail of Tohoku Cherry Blossomsの記事】

SNSで東北の観光スポットやキャンペーン情報を紹介しています

東観推では、コロナ禍における興味喚起とコロナ収束後の誘客に向け、SNSを活用し、日本国内および海外に対して、東北の観光情報等を発信しています。

東北・新潟の寒さも一段と厳しくなる1月は、東北の冬祭り特集として、上杉木内の紙風船上げ・なまはげ・横手かまくら（秋田県）、大東大原水かけ祭り（岩手県）、加勢烏（山形県）、会津絵ろうそく祭り（福島県）、冬のアクティビティとして、湯沢スノーリゾート（新潟県）を発信したほか、冬におすすめの温泉として酸ヶ湯温泉（青森県）を紹介しました。

また、1月より日本語版では「#東北PR局」を付けて投稿いただいた一般ユーザー投稿をリポストしております。現在開催中の冬のハッシュタグキャンペーン同様、「#東北PR局」を付けての投稿をお待ちしております。

引続き東北観光の魅力発信に取り組んでいきますので、是非フォロー等よろしくお願い致します！

	【Facebook（Tohoku Tourism）英語版】 https://www.facebook.com/TohokuTourism/?ref=page_internal	
	【Facebook（Tohoku for Muslims）ムスリム版】 https://www.facebook.com/EnjoyTohokuFood/posts/	
	【Facebook（旅東北 東北観光推進機構）日本語版】 https://www.facebook.com/tohokukanko	
	【Instagram（tohokutourism）英語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism/?hl=ja	
	【Instagram（【公式】東北観光推進機構）日本語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_jp/	

【東北の冒険山形県 加世道祭り】

真冬に走り回っている寒さを覚えたことありますか？ 想像することとは不可能ではない。毎年2月11日に開催される1600年伝に発祥のお祭りがあります。この祭り（かせどり）では、ほぼ裸で町を走り回り、地元の町民によって冷たい水を浴びられています！

上山地区は火災に遭い、その火災により、地元の人たちは、カセドリの鳥（カセドリの鳥）を飼育し、その鳥を飼育しながら「カセドリの鳥」と呼ばれ、鳥の羽に水しきりを浴びたりして、火の安全と無病息災を祈る。上山の町から始まり、街を巡行する。これも見逃せないユニークなフェスティバル。もっと見る

●元のテキストを表示、このページの検索



東北歴史文化講座初となるオンラインツアーを開催しました（1月23日）

東観推では会員企業のJR東日本との共催により、東北各県の魅力・歴史・文化などの独自性のあるテーマを掘り下げて紹介する「東北歴史文化講座」を開催しています。この度、東北歴史文化講座では第12回で取り上げた青森県の縄文の歴史に関するオンラインツアーを開催しました。

<オンラインツアー概要>

- ・ツアータイトル：時を超えて 青森縄文オンラインツアー
- ・テーマ：縄文の「食」をめぐる冒険 ～遺跡から解き明かす奥深き縄文世界～
- ・実施時間：約70分

東北歴史文化講座初となるオンラインツアーには、1200名の応募の中から抽選で選ばれた約400名のお客様にご参加いただきました。東北歴史文化講座の講座動画でも講師として出演された岡田康博氏がMCを務め、是川縄文館をはじめ三内丸山遺跡等青森県内の各縄文遺跡と中継を結び、昨年世界文化遺産登録をされた縄文遺跡群をご案内しました。

ツアー参加者からは、「青森の縄文遺跡について理解を深めることができた」や「縄文文化に興味を持った」、「再度訪れてみたい」等と多くの感想をいただき、大変好評に終わることができました。

まだ続くコロナ禍でなかなか思うようなご旅行は難しいものの、昨年、世界文化遺産にも登録され賑わいをみせている「北東北の縄文遺跡群」に是非皆さまもお越しください。



【オンラインツアーの様子】



【オンラインツアーの様子】

首都圏旅行エージェント（教育旅行担当）の現地研修会を実施しました （1月19日～21日）

山形・宮城両県において、関東から東北地区への教育旅行誘致を目的とした首都圏旅行エージェント招請事業を実施しました。

SDGsや探究学習をテーマとするコンテンツや伝統体験施設の視察、また両県の担当者および修学旅行受入業者との意見交換会や商談会を実施するなど、東北における修学旅行等について研修していただきました。

参加の方々からは、東北・新潟での受入れに關しての準備がしっかり整っていて、現在の教育旅行に求められているニーズがしっかり捉えられているとの評価と共に、さらなる改善のための助言等もいただきました。

今後とも地域と連携し、教育旅行実施へ向け誘致活動を行ってまいります。



【研修会場の様子】

学校関係者を招請して東北教育旅行現地研修会を実施しました （1月29日～30日）

日本修学旅行協会と連携し、宮城県において、東北地区への教育旅行誘致を目的とした東北教育旅行現地研修会（招請）を実施しました。

コロナの影響で当初8月としていた予定を延期しての実施となりましたが、ご参加の先生方には、開催前にも道中も感染防止対策を徹底した上、震災・防災・減災学習には欠かせない震災遺構の見学、また先生方と修学旅行受入業者との情報交換を実施するなど、東北における修学旅行等の実施方法について研修していただきました。

先生方からは実際に現地で語り部さんのお話を聞き、体験することではじめて感じられる震災学習の重要性や、受入体制の充実、教育旅行に対する東北の熱意を感じていただき、「まなびの旅」にとっても適した地であると評価をいただきました。今後も地域と連携し、教育旅行の誘致促進へ向け情報発信に取り組んでまいります。



【大川小学校見学の様子】



【宮城県セミナーの様子】

第六期フェニックス塾 第6回塾を開催しました（1月13～14日）

今年度第6回目となる「フェニックス塾」を山形県天童市で開催しました。2日間にわたりセミナー・ワークショップ、エクスカーションを実施し、それぞれ29名、25名の塾生が参加しました。

【1/13・第一部】セミナー

テーマ：「観光地域づくりによるブランディングと活性化」

講師：株式会社DMC天童温泉 代表取締役社長 山口敦史様

テーマ：「これからの観光地域づくりと地域金融機関の役割」

講師：青森銀行 営業推進部地域振興・情報開発担当 参与 高坂幹様

【1/13・第二部】ワークショップ（グループディスカッション）

「ウィズコロナ・ポストコロナを見据え、東北（TOHOKU）が国内外から選ばれる観光地になるには」のテーマに対して対応策の検討を行いました。

【1/14】エクスカーション

天童での観光時の二次交通への取組みとして、現在実証実験中の巡回バス「GURURI」の乗車体験をし、冬の山寺を訪れました。閑散期の東北の観光について考える良い体験となりました。



【セミナーの様子】



【ワークショップの様子】



【巡回バス「GURURI」乗車体験】

2021年度第3回行政観光戦略会議を開催しました（1月20日）

東北6県・新潟県・仙台市の観光担当課長、他の皆様と共に会議を開催しました。（感染拡大状況を踏まえ、対面・Webでのハイブリッド開催としました）

会議では、「2022年度事業計画（案）」や「各県・市の2022年度事業計画」などについて、現状における見通しや各県市の抱える問題を共有し、そのうえでコロナ禍からの回復状況をみながら2022年に向けてどのような取り組みを行うべきかなどについて意見交換を行いました。

これからも積極的に連携を図りながら観光振興を進めてまいります。

TOHOKU Fan Club 会員募集しています

東観推では、持続可能な東北観光を実現するための活動を一緒に応援してくれるファンの会員組織「TOHOKU Fan Club」を12月に新たに設立しました。

会員サービスとして、東北のおすすめ情報やお得な情報をメールや会員サイトでファンにいち早くお届けする他、ファンの方へアンケートのご案内をお届けします。アンケートに回答するとポイントが貯まり、ギフトカードに交換できるほか、東日本大震災の復興支援やSDGsの取り組みを支援する団体へ寄付することができます。

1月から東北のおすすめ情報やお得な情報の投稿をスタートしました。ログインしていただき、ぜひご覧ください。

※会員登録がまだの方は、ぜひこちらの特設サイトからご登録ください。

<https://tohokufanclub.com>



【特設サイトはこちらから！】



【会員募集チラシ】



【宿泊クーポン】



【ハッシュタグキャンペーン】



【リフト券割引クーポン】

また、会員募集用のチラシ（A4・日英表裏一枚）を作成しました。東北域内のJNTO認定を取得した観光案内所147箇所や各県のアンテナショップ、会員企業・団体のご協力をいただき約3万枚を配布しています。チラシの掲出にご協力いただける場合は、チラシを送付させていただきますので東観推までご連絡ください。

【ご連絡先】

一般社団法人東北観光推進機構 DX戦略部 【Email】 kikaku@tohokutourism.jp

「旅東北NEWS」VOL.041 2022年2月15日発行
【発行】一般社団法人東北観光推進機構
仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階
【TEL】022-721-1291【FAX】022-721-1293
【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp

「東北観光推進機構」公式Facebook

東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！

<https://www.facebook.com/tohokukanko/>

「いいね」「シェア」をよろしくお願いします！